

緑化北海道フェア「みどりの広場」プラン部門の作庭予定地の概要

■作庭（施工）予定地

第 39 回全国都市緑化北海道フェア

メイン会場：「恵庭かわまちづくり区域」

■会場コンセプト

花と緑豊かなライフスタイル、生活文化の創造

～心を豊かにする花と緑のある暮らし。子ども達が住み続けたいくなる、新たな人々が移り住みたくなる「花のまち」をつくろう～

■「花の拠点」（はなふる）一帯の変遷

・北海道恵庭市の名前の由来は、恵庭岳を表したアイヌ語「エエンイワ(鋭くとがった山)」から転説されたと言われています。

・地勢では、札幌市と新千歳空港のほぼ中間に位置し、支笏洞爺国立公園に至る広大な森林地域と、そこを水源としサケが遡上する漁川の下流に広がる田園地域からなり、市内に JR の 4 つの駅があるほか、国道 36 号と道央自動車道が縦断する恵まれた交通アクセスを持つまちです。早くから住宅地整備を進めると共に、公共下水道の整備や大学・専門学校の誘致、工業団地などの都市基盤の整備が進められたことで人口は着実に増加し、令和元年（2019 年）9 月には人口 7 万人を突破し、令和 2 年（2020 年）11 月 1 日には、昭和 45 年の市制施行から 50 周年を迎えました。また、市民ガーデナーが自宅の庭をオープンガーデンとして一般公開したり、花のイベントが開催されたりするなど市民主導による『花のまちづくり』が進められてきました。

・明治 39 年（1906 年）恵庭村誕生

・昭和 26 年（1951 年）恵庭町制施行

・昭和 36 年（1961 年）「花いっぱい文化協会」が地元有志により設立され、住民主導の花のまちづくりが開始。「花のまち」が市民に深く浸透し、現在も大通り、商店街、駅などの公共施設、個人の庭まで至るところが花で飾られ、花と緑の美しいまちが作り上げられています。

・昭和 45 年（1970 年）市制施行 恵庭市誕生

・平成 10 年（1998 年）市民の動きをきっかけに「花と緑の課(現 花と緑・観光課)」設置 市民・行政・生産者・専門家が一体となった取り組みの展開がはじまりました。

・令和 2 年（2020 年）7 月 全国都市緑化北海道フェア開催正式決定

・令和 2 年（2020 年）11 月 年間 100 万人以上が来訪する道と川の駅「花ロードえにわ」の隣接地に花観光の拠点であり市民や花関係団体の活動拠点となる「はなふる」がオープン。

■現在の状況

・はなふるは、野菜や果物、ハーブを観て楽しめる「キッチンガーデン」や、ピクニックやゆっくり本が読める「大きなカステラが焼けるお庭」など、道内の著名なガーデナーによる趣の異なるコンセプトでデザインされた 7 つのガーデンがあります。令和 3 年（2021 年）よりフルオープンとなり、季節によって色鮮やかな花が彩られます。ガーデン施設の中央には芝生公園や噴水、センターハウス内には屋内遊具施設えにわファミリーガーデン「りりあ」もあり、小さなお子様でも楽しめます。また、はなふる敷地内には、電気自動車専用の給電施設、屋内キッチンやシャワー室、屋外電源が利用可能な RV パークのほか、令和 4 年（2022 年）春にはパーク PFI を活用した宿泊施設としてフェアフィールド・バイ・マリオット・北海道恵庭が完成予定です。

・はなふるのセンターハウスには、市内の花の見どころや市民のオープンガーデンを紹介した花マップのほか、カフェやスイーツ、パン屋などを地区ごとに紹介するフードマップもあります。

・敷地の西側には国道 36 号（札幌方面・千歳方面）、南側には漁川（いざりがわ・石狩川水系千歳川支流の一級河川）が流下しています。

・花の拠点を利用した市民活動や民間活力との協働により、「花のまちづくり」に携わる市民の増加や意識の醸成、次世代の人材育成につなげることを目指しています。

■都市緑化北海道フェア基本方針

① 北海道ならではの花とガーデンの魅力で人々を感動させるフェア

- ・北海道の自然と人々により育まれた貴重で特有害な資源を有効に活用します。
- ・最高の季節に彩り溢れるガーデンやまちなかをつなぐ会場で来場者をもてなします。

② 希望と活力あふれる“花のまちづくり”を次の世代に継承するフェア

- ・これまで培われてきた、人のつながり・幸せを感じるまちづくりを、若い世代に引き継ぎます。
- ・将来を担う子ども達に、花と緑を慈しみ、郷土への愛着を育む機会を創出します。

③ “日々の暮らしの潤い”“地域の絆”“豊かな地域社会”につながるフェア

- ・花のまちづくりの先にある、ライフクオリティの向上、思いやりのある地域づくりを目指します。
- ・地域のシンボルとなる拠点を活かし、観光・都市間交流・地域経済の発展を見据えて取り組みを進めます。

■展開イメージ

会場全体図



全国都市緑化北海道フェアの会期は 2022 年 6 月 25 日（土）～7 月 24 日（日）です。作庭（施工）予定会場は現在設計中ですので、恵庭市役所ホームページもしくは全国都市緑化北海道フェア推進室までお問い合わせください。

・第 39 回全国都市緑化北海道フェア【開催概要】

<https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/keizaibu/ryokkafair/8262.html>

・北海道恵庭市経済部 全国都市緑化北海道フェア推進室

<https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/keizaibu/ryokkafair/index.html>